

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

http://www.ka.shibaura-it.ac.jp

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 2026年3月2日

印刷所 株式会社横浜写真

前後際断・芝柏 Family

— 44期卒業 —

2025年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式式辞

校長 中根 正義

目の前のことを大切に、しなやかにたくましく生きる

正門前の河津桜がピンク色の可憐な花を咲かせ、春の訪れが感じられるようになってきました。第44期の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。学び舎を巣立っていく皆さんの晴れやかな表情を目の当たりにし、心から嬉しく思うとともに、今日まで温かく見守ってこられた保護者の皆様に、深くお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、3年前の入学式のことを覚えているでしょうか。中学棟前に掲揚していた鯉のぼりの話から、登竜門の逸話を紹介しました。開校当時、男子校であったことから、本校が登竜門になるという思いを込めて入学式に鯉のぼりが掲げられていました。当時を知る教員からの寄贈もあり、君たちが入学した年から鯉のぼりの掲揚を再開しました。この3年間、我々教職員が皆さんにどれだけ寄り添えたのか自問自答する時、甚だ自信がありません。とはいえ、自分の進路を定め、国内ばかりか、海外の難関大学へも果敢にチャレンジしている皆さんの姿を見て、頼もしさすら感じました。

皆さんとはさまざまな思い出があります。中入生のことで思い出すのは、まだ皆さんが中学3年生になったばかりの頃のことです。私が校長に着任して間もない時期で、中学生の皆さんが私に興味津々で、毎日のように目をキラキラ輝かせながら校長室を訪ねてくれました。その中で、13人がまとまって来てくれたこともありました。校長室には一人がけのソファが6脚しかありません。仕方なく1脚に2、3人ずつ座ってもらい、私がサイドボードに腰かけていろいろな話をしたのは、とても懐かしい思い出です。

また、高校では皆さんが課題研究や部活動で活躍し、海外で発表したり、テレビで取り上げたりして話題になりました。他校の先生から「芝柏生はすごいですねえ。どうしたら、あんな生徒が育つのですか？」と驚かれ、内心鼻高々な気分になりました。

皆さんには、芝柏での貴重な経験を、これからの人生に生かしてもらいたいと思います。世界で、日本で今、世の中が大きく変わろうとしています。そうした中で、皆さんに次のような言葉を贈りたいと思います。

人間万事塞翁が馬

中国の古い物語から生まれたこの言葉は、「人生における幸福や不幸は予測しがたく、何が良くて何が悪いかは、すぐには判断できない」という意味があります。人生100年時代と言われる世の中であって、皆さんのこれからの長い人生では、いつも追い風が吹くわけではありません。予期せぬ挫折を経験するかもしれない。逆に、思いがけない幸運に恵まれることもあるでしょう。一度の失敗で「もう終わりだ」と決めつける必要はありません。また、一度の成功で「自分は完璧だ」と過信しすぎるのも禁物です。その時々状況に一喜一憂せず、どっしりと構えて、目の前のことに最善を尽くしてほしいと思っています。

これまでの皆さんの18年間の人生を振り返ってみても、さまざまなことがありました。まだ幼かった頃、未曾有の被害と災害をもたらした東日本大震災と、それに続く福島第一原子力発電所の事故がありました。今年はそれから15年という節目の年です。また、中学入学当初からコロナ禍となり、学校行事の変更など、思い通りにいかないことも多々ありました。しかし、その苦労があったからこそ得られた絆や、強くなった心があるのではないのでしょうか。

本校の創立の理念は「創造性の開発と個性の発揮」です。失われたものを嘆くだけでなく、その教訓を糧に、芝柏で培った創造性や個性を、これからの人生で発揮してほしいと思います。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。どんな状況に置かれても、しなやかに、そしてたくましく自分の人生を歩んでいかれることを期待し、式辞といたします。

目次

| | |
|------------------------------|-----|
| 校長式辞 / 式次第 | 1 P |
| 受賞の喜び | 2 P |
| 巣立ちゆく者たちから | 3 P |
| 巣立ちゆく者たちから / 保護者から / 贈る言葉 | 4 P |
| 贈る言葉 | 5 P |

- 一、開式の辞
- 一、卒業証書授与
- 一、賞状賞品授与
- 一、校長式辞
- 一、学校法人代表祝辞
- 一、送辞
- 一、答辞
- 一、記念品贈呈
- 一、校歌斉唱
- 一、閉式の辞



受賞の喜び

創立者有元史郎記念賞

芝柏に來れてよかった！

5組

どんな学校なのかよく知らずに芝柏へ入学しましたが、芝柏で過ごした6年間は濃密で、私に人間的成長を与えてくれるものでした。

学業や部活動、課外活動などに取り組む中で、何度も壁にぶつかって苦しい時もありましたが、その度に立ち上がり、自分でも驚くほどの成長がありました。

芝柏は成長への鍵が至る所に転がっている学校だと思います。そんな環境で刺激を与え合える仲間、個性豊かな先生方に出会い、貴重な時間を過ごせたことが私にとって一番の幸運でした。

猪突猛進な私を支え、挑戦をいつも応援して下さった先生方、友人、家族。そして、最高の環境で全力を尽くせたことに心から感謝しています。

偉大なる賞をいただけたことに感謝し、これからも精進して参ります。

芝柏、ありがとう！

千葉県知事賞

出会いと支えに感謝して

4組

この度は名誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。

コロナ禍終盤で、制約も多くある中で入学しましたが、行きたかったホームステイプログラムやベトナム FPT 高校との共同研究などグローバルな学びの機会に恵まれました。異なる文化や価値観に触れることで視野が大きく広がり自分自身の成長を実感でき、とても充実した学校生活を送ることができました。勉強面では周りの友人から刺激を受け、一人ではなくみんなと一緒に取り組めたことで頑張ることができました。

継続的に努力し続けた3年間で、この賞につながったのだと思います。先生方にも常に温かくご指導いただき、深く感謝しております。これからも努力を重ねていきます。

千葉県私立中学高等学校協会賞

仲間と共に歩んだ六年間

5組

この度はこのような賞をいただき、大変嬉しく思います。六年間の学校生活を振り返り、真っ先に思い浮かぶのは友人の存在です。他愛もない話で笑わせてくれたり、時に励ましてくれたりする友人の存在は、私にとって大きな力となりました。

また、時間を惜しまず勉学に励む姿や、課外活動に積極的に挑戦する友人の姿に刺激を受け、私自身も留学やベトナム研修などに挑戦しました。この経験は、私の視野や可能性を大きく広げてくれました。共に刺激を与え合い、高め合うことのできる友人の存在は、芝柏生活で得たかけがえのない財産であり、私の誇りです。

最後に、成長の機会を与えてくださった先生方や支えてくれた家族にも感謝いたします。

六年間ありがとうございました。

巣立ちゆく者たちから

信じた道を、まっすぐに

1組

私の人生は水泳である。そう言い切れるほどに多くの時間を費やしてきた。速くなりたいという一心だったし、元々の真面目な性格も相まって、視野が狭く人当たりの悪い人間となってしまっていた。そんな私を変えてくれたのは芝柏で出会った、まっすぐでかっこいい生き方を見せてくれた私の友達と、他の生き方もあると教えてくれた私の恩師である。他の生き方もあると自覚した上で、それでも友のような生き方を歩みたいと改めて決意したからこそ、中高の6年間で心身共に大きく成長できた。あの日人間関係で悩み、ところ構わず泣いていた私が、皆と会う日々の終わりを名残惜しく思うほどに。

きっとこれからも人間関係で悩むし、どうしようもなくなる日が来ると思う。その度に私は信じた道を、まっすぐに進もうと思う。またいつか、友と再会することができた時に、肩を並べても恥ずかしくない自分であるために。だから。

「ありがとう。またね」

勇往邁進

4組

本日、44期としてこの日を迎えられたことを心より嬉しく思います。6年前、先の見えない不安を抱えながら中学校に入学し、私たちは制限の多い中学3年間を過ごしました。そして3年前、期待に胸を膨らませ迎えた高校生活。文化祭、合唱祭、オーストラリア研修旅行、部活動——これ以上ないと思える青春を共に創り上げることができました。この時間は、支えてくださった先生方、保護者の皆さま、そして何より44期の仲間一人ひとりの存在があってこそ築かれたものです。心より感謝申し上げます。この高校3年間で、私は他者を認めることの大切さ、そして自分が多くの人に支えられているということに気づきました。卒業という節目を迎え、別れと捉えれば寂しさもあります。しかし、芝柏で磨いた無限の宇宙に挑む翼を、いま羽ばたかせる時が来たと思うと、楽しみでなりません。これからも芝柏ファミリーの一員として、志高く挑み続けていきます。

最高の青春

2組

今、増穂だよりに載る文章を書いていると思うと少し緊張していますが、温かい目で読んでいただけたらうれしいです。

まずは家族、先生方、そしてこんな僕と仲良くしてくれた友人たちに感謝を伝えさせてください。本当にありがとうございました。

特にソフトテニス部のみんなへ。思うように結果が出なくて、辞めたいと思うほど悔しい日もありました。それでも、みんなと過ごした時間はいつも楽しくて、大きな支えになっていました。ありがとうございます。みんなで馬鹿なことをして、くだらないことで笑った毎日は、何より大切な思い出です。今振り返ると、楽しかった場面ばかりが浮かんできて、少し泣きそうです。

芝柏での生活はここで終わり、これからはそれぞれ違う道へ進みます。思い残すことがあるのは、それだけこの6年がかげがえのない時間だったからだと思います。最高の青春を、本当にありがとうございました。

旅立ちの日に

5組

芝柏で過ごした3年間を振り返ると、球技祭や文化祭で一致団結して頑張ったり、総合探究に精を出したりと、高校生らしい、そして芝柏生らしい青春が送れた、非常に面白いものであったと感じます。特に3年生でのこの1年間は、クラス会長という貴重な経験をさせていただきました。私自身至らない点も多かったですが、副会長や書記を中心としたクラスの皆、そして先生方の助けもあり、職務は果たせたのかなと思います。

かけがえのない仲間たちと共に過ごした高校生活は、成功した経験や楽しかった経験だけでなく、苦しい経験もありましたが、どの経験も今の私をかたちづくり、そしてこれからの新しい進路の糧になると思います。

最後に、日頃私たちを支え、応援してくださった家族、先生方、そして卒業を迎える仲間たちに、感謝の気持ちを伝えようと思います。今日まで、本当にありがとうございました。

44期、いつかまた、あの日のように

3組

ありがとう。これを先生や部活仲間、仲良くしてくれた友だちに伝えたい。そして毎日世話をしてくれた家族に言葉に尽くせぬ感謝を。高校で過ごした3年間を思い返すと、様々な素晴らしい思い出ができた。特にオーストラリアで皆と同じ景色を見て、同じ時間を過ごしたあのときは、高校生活の中で最も鮮やかな思い出である。放課後に交わした何気ない会話や、特別なことのない一日が、もう簡単には戻らないと思うと、もっとくだらない時間を過ごしたかったと寂しい気持ちになる。これからはそれぞれ違う道を歩んでいくことになるけど、芝柏で共に過ごした時間は、これから先も変わらず皆の心の中にあり続けたいと思います。名残惜しいが立ち止まってははいけません。きっとこれが最後の別れじゃないから。44期誰ひとり欠けずにまた会おう。あつという間だった3年間。芝柏で過ごせたすべての時間と出会えた人に、心からのありがとう。

感謝

6組

この6年間で、たくさんの先生方や友達にお世話になりました。迷惑もかけました。すみません。そして、ありがとうございました。ここでは、友達の一人のエピソードを書きたいと思います。彼は、6年間毎朝早くに登校し、トレーニングをして、チームの中で誰よりも走り、戦っていました。彼自身が試合に出るためだけでなくチームが勝つために、もがいていました。苦しい時間の方が多かったと思います。その姿を見て、僕はたくさん力もらい、支えられました。しかし、引退試合に彼は怪我をしたため出られませんでした。周りから見れば彼はただの怪我人だったかもしれませんが。昔の僕は、そのような、目の前のものや結果だけを見て判断をしていました。本当に大切なものはそれだけではありません。その人の生き方だったり、当たり前の日々を目を向けたり、もっとたくさんの人と向き合い、気づいて成長したいです。



巣立ちゆく者たちから

未来へ踏み出す今

7組

六年間の芝柏での生活を振り返ると、笑い合った日々も、悩み立ち止まった時間も、すべてがかけがえのない思い出です。

私たちは同じ教室で学び、行事に全力で取り組み、ときには意見をぶつけ合いながら成長してきました。うまくいかないことがあっても、仲間存在に何度も救われました。この学年の仲間と過ごせたことを、心から誇りに思います。これからそれぞれが違う道へ進みますが、不安よりも期待を胸に、一歩ずつ前へ進んでいきましょう。失敗を恐れず挑戦する気持ちを忘れず、自分らしく未来を切り拓いてください。ここで出会った仲間と先生方への感謝を胸に抱き、私たちが強く羽ばたいていきましょう。



保護者から

44期生の皆さんへ

第44期生学年代表

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たちは日々3万5千もの選択をしているそうです。皆さんは今日までたくさんの選択をし、経験を積み重ねてきたことでしょうか。そして慣れ親しんだ芝柏を離れそれぞれ進む途は、大きな選択の結果です。これからは、新しい環境でそのときにしかできない経験をたくさん積んでください。困難もあるでしょうが、そうすればその次の選択の幅がまた広がるはずですよ。皆さんの未来には無限の可能性が開けています。知識と経験を基に、これからの人生を力強く歩まれることを心から願っています。

最後になりますが、入学以来子どもたちにご指導くださいました先生方、PTA活動にご協力くださいました保護者の皆さまに深く感謝申し上げます。そして、芝浦工業大学柏高等学校のますますのご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

贈る言葉

高校教頭

44期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでは周囲から守られる存在でしたが、いよいよ本当の意味で自律した大人になるべき時がやってきました。これからは今まで以上に正解がいくつもあったり、時には答えのない目標を目指すことになったり、進むべき方向を見失うこともあるでしょう。真実の答えは、外の世界ではなく、自身の内側にあるものです。何を選び、何を信じて生きるか。その問いを止めることなく、孤独と変化を恐れず、思索を深めてください。目に見える成果よりも、心の在り方を大切にできる大人になってください。皆さんが自由な精神を携え、新たな地平を切り拓くことを期待します。

学年主任・5組副担任

ハーバード大学の長期研究によると、幸せの鍵は富や名声ではなく「質の良い人間関係」にあります。信頼できる人と温かく繋がり、愛する人を大切にしながら、頼り頼られること。そして「今この瞬間」を集中し、意味を見出すことが大切です。また、幸せは目的ではなく、変化を受け入れ進み続ける「方向性」そのもの。私からは「感謝の数だけ、幸せになる」という言葉を贈ります。皆への感謝と共に、「ありがとう」を言うだけでなく、言われることをしてみよう。きっと幸せに包まれることでしょう。最後になりましたが、卒業おめでとうございます。芝柏に入学してくれて、本当にありがとうございます。素敵な思い出をありがとう。

1組担任

その歩みは確かな成長の証です。つらい時も逃げずに向き合った姿勢。ぎゅっと重ねてきた努力は宝物。よろこびも失敗も学びとなります。うつむかず前を向いて進みましょう。お互い思いやり信頼される人になりめぐりあった出会いを大切に。してであった人への感謝を忘れず。ときには自分に厳しく自らを律し。うかれず謙虚な心を持ちましょう。ごく当たり前の生活を大切に守り。ざわめく環境の中でも自分を見失わず。いろいろなことに挑戦し視野を広げ。まっすぐ誠実に歩んでください。すばらしい未来を信じています。

2組担任

「足元を見て、空を見て」卒業おめでとうございます。皆さんの前にはまだ見渡せていない世界が広がっています。また、あなた自身のなかにもまだまだ無限の可能性が広がっています。それに広く目を向けて、自分のやりたいこと、どう生きていきたいかを探してください。一方で、これまでのように学校に属していれば進級によって自然と前に進んでいく、ベルトコンベヤーのような時期は終わりです。これからは皆さん自身が自分の足で前に進んでいかなければなりません。毎日の一歩一歩を大切に、しっかり地面を踏みしめて前進してください。

3組担任

暗い水の流れて打たれながら
魚たちのぼってゆく
光っているのは傷ついて
はがれかけた鱗が揺れるから
いっそ水の流れて身を任せ
流れ落ちてしまえば楽なのにね
やせこけて そんなにやせこけて
魚たちのぼってゆく

ファイト！闘う君の唄を
闘わない奴等が笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
ふるえながらのぼってゆけ
～『ファイト！』作詞・作曲 中島みゆき～

先の見通しが立たない世の流れに、みなさんはまさに泳ぎだそうとする魚に例えられる。壁にぶち当たっても、乗り越えるために自分自身と闘ってほしい。この学校はあなたに「ファイト！」と応援しているから。高校卒業おめでとう。

4組担任

ご卒業おめでとうございます。「大切なのは、どれだけ多くのことをしたかではなく、どれだけ心を込めたかです」これからみなさんは、広い世界へと歩んでいきます。そこで出会う多様な価値観に触れ、更に成長して、世界を舞台に活躍する人になるでしょう。大きな成果を追い求める時こそ、目の前の一人に寄り添う優しさを忘れないでください。自分の強さを誰かのために使い、他者の痛みと共に感じる誠実さこそが、国境を越えて信頼を築く鍵となります。志は高く、視線は優しく。みなさんの未来が、輝かしいものになることを心から願っています。

贈る言葉

5組担任

皆さんと過ごした時間はかけがえのないものとなりました。ありがとう。ともに学んだこの仲間との繋がりをずっと大切に。新たな出会いを大切に。最後に、ある有名な数学者の言葉をはなむけに。「自分の関心に基づいて取り組む問題を選択することが重要だということです。どんなに難解な問題も、やってみない限りは絶対に解けません。自分にとって最も重要な問題に常に挑戦してください。」あなたが人生をかけて取り組みたい問題を見つけ、挑戦し続けてください。この先の人生での活躍を心より願っております。

6組担任

皆さん、卒業おめでとうございます。いきなりの6組担任。そんな私を温かく迎えてくれてありがたかったです。皆さんに贈る言葉は、「燕雀 いずくんぞ 鴻鵠 の志を知らんや」です。

大志を抱く人の考えは、一般人には理解できないという意味の故事成語です。受験で第一志望に合格すればいいと考える受験生が多い中で、自分の将来を見据え、将来に役立つ学習を続けるのが大きな志を持つ人間です。私は漢文と歴史、特に三国志に興味を持ち中国古代史を研究し、歴史の楽しさを伝えたいと思い、教職に就きました。皆さんも自分の道を究めて下さい。

7組担任

成長とはできないことができるようになること。できないことをできるようになるには、できないことをし続けること。できないことをすることは苦しいこと。だから、苦しい時にはたいてい正しい道にいるということです。苦しいことから逃げない人生をのぞみます。

1組副担任

“人生はチョコレートの箱と同じ。開けてみるまで中身はわからない”

開けるか開けないかは自分次第ですが、やってみないとわからないことはたくさんあります。迷ったっていいんです。たくさん悩んでください。悩んでこそ、人の生きる道です。そして、間違ったっていいんです。間違えを恐れていたなら何も始まりませよ。卒業おめでとう。本当におめでとう！

2組副担任

ご卒業おめでとうございます。芝柏在学中に積み上げた知識と探究活動で養った思考力を生かして、今後もさらに自分に磨きをかけてください。世界のどこにいても誰かのために活躍するみなさんの将来を楽しみにしています。ポジティブに考え、アクティブに行動し、クリエイティブに生きよう！
Good luck!

3組・7組副担任

ご卒業おめでとうございます。共に過ごした友人、これまでの環境、育てていただいた保護者に感謝をしながらもここからはそれぞれの道に進みます。20代のうちは失敗や挫折も含めて何事も経験、先の大きな自分をつくる糧になりますから、困難を恐れずに決めたい道ががむしゃらに進んでください。一期一会の出会いを大切に、あなただけの特別な自分らしい色の豊かな人生を歩まれることを願っています。

4組・6組副担任

卒業おめでとう。これからの人生には「制限時間」も「正解」もありません。君たちが書く全ての答えが、明日へのハードルを越える力になるはずですよ。この一年、共に走った時間は僕自身の大切な宝物でした。答え合わせをするその日まで、自分らしく頑張ってください。君たちの未来に、幸あれ。またどこかで。

1年次 2組担任

44期卒業おめでとうございます。最後のクラス担任として、1年次担当しました。皆さんはぜひ人生前向きで頑張ってください。私は人生後ろ向きになって考えることが多くなってきました。もし、10代の自分にアドバイスするならば、「お金は大事だけど、しかし夢を実現できるように頑張れ！」と言いたい。実りある人生を祈っています。



1年次 3組担任

朝、目が覚めると行く場所があり、行けばそこにいつもの人達がいる。あたりまえの日常の中に幸福はあるのだと別れの時は教えてくれます。新たな場所で新たな幸福を見つけてください。三年間一緒に持ち上がり、卒業まで見届けるつもりでいましたが、途中で離れることになりました。ごめんね。卒業おめでとう。お元気で。

1年次 5組担任

ご卒業おめでとうございます。「し」信じた道を進めば
「ば」万事うまくいく
「か」輝く未来へ
「し」出発だ
君たちの高校生活の一部でも関わったことをうれしく思います。それぞれの道を悔いのないように、これからも全力で突き進んでください。

1年次 7組担任

卒業おめでとうございます。この2年間で、みなさんは大きく成長し、同時にAIも飛躍的な進化を遂げました。今後はAIを思考のパートナーとして活用する機会も増えるでしょう。自らの興味と専門性を源泉に、人間である「あなた」だからこそ生み出せる価値を創造していきましょう。

1年次 6組、2年次 1組担任

私は世界史を通して、たくさんの「時代の主人公」の話をしてきました。けれど、どんな偉人も最初はただの若者でした。少し無謀で、少し迷いながら、それでも一歩を踏み出した人たちです。

つまり——今の君たちも同じです。「やってみよう」と動いた人の足跡が、あとから歴史と呼ばれるだけです。

どうか安全な観客席ではなく、自分の人生の当事者席へ。Make your own history.

2年次 3組担任

決して驕るな。
そして浮かれるな。
自分の足で人生を踏み出せたこと。そんなあなたを誇らしく思い祝福してくれる人がいること。ぜんぶ当たり前ではありません。あなたに能力が備わったのなら、それは誰かの幸福のために惜しみなく使いなさい。そしてあなたもその分、幸せになってね。